

五島市図書館友の会だより

第 9 号 (2017.11)

発行者 五島市図書館友の会

人と本を結びつけるものとは

子育てが落ち着き、図書ボランティアの世界に出会い、それが縁となり現在学校図書館で仕事をさせていただいています。私自身、小学校の低学年までは本に親しんでいたようで、担任の先生から



「この調子で読んでいくと図書館の本を全部読めるかもよ。」と言われた記憶がうっすら残っています。(これはさすがに言い過ぎでしょうが…) そんなありがたい言葉はどこへやら、本から徐々に遠ざかっていきました。中学校・高校はバスケの部活三昧、当時読んでいたものといえば少女漫画でした。大学生になるとレポート提出やテスト勉強のために大学図書館を利用していましたが、読書のための利用は少なかったです。このように読書量が少ない学生時代を過ごした私ですが、本が嫌いとか活字アレルギーというわけではありません。はたして私と本をкаろうじて結びつけてくれたものとは…?

一人目は母です。仕事を持っていた母なので忙しかったと思いますが、読みたい本がある時は家事を早く片付け、どこかワクワクした面持ちで本を開いていました。「邪魔しちゃ悪いな」と子供心にもそう感じました。「本=楽しいもの」の図式がここで生まれたのだと思います。

二人目は学校の先生です。高校時代に夏休みにカフカの「変身」を読む課題が出されました。薄い本なのになかなか読み進められず…考えても答えのないすっきりしない本は初めての出会いでした。また、高二の時に夏目漱石の「こころ」の一部を授業で習ったのですが、学習が終わった後、授業を何時間かつぶして先生が残りの部分を朗読されました。そんな先生は初めてでした。本の紹介で終わることもできたでしょうに。今でも先生の声や読み方を覚えています。

三人目は大学の友だちです。大学図書館で思うような資料が見つからない時、その友だちは即座に近くにあった県立図書館に連れて行ってくれました。私の生まれた町の公共図書館は今でこそ立派な施設に生まれ変わりましたが、昔は蔵書数も少なく、知る人ぞ知る存在だったと思います。図書館の活

用の仕方を知らずに育った事を実感しました。

読書にはハード面とソフト面の充実が必要です。ハード面はもちろん本です。しかし、全ての人が見たい本を片っ端から購入して読めるわけではありません。そこで図書館の出番です。目指すは滞在型図書館！ゆったりとした空間で本の世界に入り込める贅沢なひとときを過ごしたり、個別ブースで学習したり、本を読まなくてもサークル活動など仲間と楽しめる部屋があったり。図書館で出会った人や得た知識で豊かな時間を持つことができます。ソフト面は人です。私の場合、手あたり次第本を読むというより、私と本との間に人がいます。直接会って話せる人、雑誌やネットで書評を書く人（直接会えない人）などいますが、やっぱり直接会って話すのが楽しいし影響力もあります。おすすめの本を紹介する、本で味わった感動を話し合っ共感する…そんな体験を学校の図書室でも子どもたちにも味わってもらいたいと思っています。子どもたちの中には何を読んでいいのかわからない子もいます。そんな子どもと本を結びつけるにはまわりにいる大人がキーを握っています。また、十人十色の子もたち心に残る一冊を届けるためには出来るだけ多くの大人（家族、学校関係者、図書館、図書ボランティアの方）が携わってほしいです。まずは大人が本を読んで楽しんでる姿を子どもに見せていきましょう。

[リレーエッセイ8]

野口 祐代（五島市図書館友の会会員）

第2回「図書館まつり」にて「古本まつり」（五島市図書館友の会協力）



10月28日、第2回「図書館まつり」が開催。

「スペシャルおはなし会」

「講演；福江城跡秘話」

次ページに詳細

「本探しゲーム」

「本のタイトル川柳」

などがあり、たくさんの老若男女でにぎわいました。

「講演；福江城跡秘話」 中村真弓さん（元観光歴史資料館学芸員）



10月28日、図書館にて「第2回図書館まつり」の一環として開催されました。

福江城は江戸末期1863年に築城されたが、完成後まもなく明治政府の令で取りつぶされた、が現在も「五島邸（心字が池を含む）」「石垣」「濠」など貴重な遺跡・史跡が残っている。

また、三方を海に囲まれた福江城は“海城”として役割を果たし、特にその石垣は学術的にも貴重な価値がある。

詳しくは『海城・福江城跡』（中村 真由美著 平成29年4月発行）をご一読ください。

来年3月～4月にかけて図書館内で関連の展示を予定しています。

展示紹介

「いろいろな蝶たち」

米 文博さん（富江町）

図書館1階展示コーナー「アートのひろば」の平成29年7～8月は、米文博さんの「蝶の写真展」でした。

米さんは15年前から「蝶の採集」をされていて蝶の持つ、不思議さ、面白さ、多様さに惹かれるそうです。

蝶採集を通じて、「自然」に興味を持つことができ、「異常気象」とかを感知できるようになったと語っていただきました。興味を持ってくれる人が少ない中で小学校5年生（吉久木町）の子がトンボに熱心な子がいて、「今後が楽しみ」とも話されました。



「アートのひろば」に展示をしてくださる方、募集中

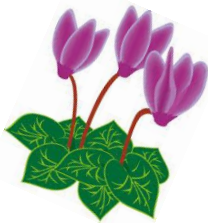
「ふるさとの話題」長崎新聞切り抜き記事が冊子体（ファイル）に
♪ご利用ください



図書館2階への階段フロー
に、毎月掲載〔会員：鳥山
さん（記事を切り抜き・コ
ピー）・毎月の例会にて作
成・掲示〕をしている記事
が大きな冊子体ファイルに
まとめられました。

図書館1階、新聞コーナ
ーにあります。2014年9月
から、現在11冊目。

第13回「読書会」のご案内



『沈黙』遠藤 周作（著）
平成30年1月25日（木）
午前10:00～ 図書館3階
（課題本は図書館にあります。）

- 展示作業・棚整理は毎月、図書館休館日の月末です。
時間は午前10時～11時予定
11月30日（木） ■12月24日（日） ■平成30年1月28日（日）
※ 12月・1月は図書館の都合で日程がいつもと違います。
- 五島市図書館友の会のホームページ（作製・更新／担当：古賀 義和）
をご存じですか。ご覧になってください。書き込みも待っています。

編集後記

今年度内に「新図書館建設住民説明会」が開催される予定です。
待ちに待った「新図書館」です。たくさんの方の参加を願いたい
ものです。 K・S